

第 13 回設計オープンセミナー開催通知

日本設計工学会研究調査部会
部会長 綿貫啓一（埼玉大学）

拝啓

日頃、日本設計工学会研究調査部会関連活動にご支援頂きまして、誠にありがとうございます。この度、日本設計工学会研究調査部会主催の第 13 回設計オープンセミナーを開催することになりました。設計オープンセミナーでは、設計やものづくりに関する研究や教育でご活躍の講師の方をお招きして、最新のトピックスについて話題提供頂き、気楽な雰囲気の中議論を行うとともに、参加者同士の懇親を深めることを目的で開催致します。

今回の設計オープンセミナーは、下記のように内容で開催致します。

たいへんお忙しいこととは存じますが、よろしくご参加のほどお願い致します。

設計オープンセミナーにご興味がある方がいらっしゃいましたら、是非ともご誘いのうえご参加ください。

会場等の準備の関係で、必ず事前の参加申込をお願い致します。

敬具

記

【第 13 回設計オープンセミナー】

開催日時：2012 年 11 月 12 日(月) 19:15-20:45

開催場所：日本設計工学会事務局 会議室

(〒169-0073 東京都新宿区百人町 2-22-17, セラミックビル内)

(アクセスマップは、<http://www.jsde.or.jp> をご覧ください。)

講演題目：光波面の設計・制御と光学機器への応用

講師：橋本信幸氏（シチズンホールディングス（株）

開発部・光応用技術開発課 上席技術員・課長）

講演概要：量子としての光子は粒子性と波動性双方の性質を合わせ持つ。前者は屈折の法則を元に幾何光学として取り扱われてきた。後者はレーザーとホログラフィーの発明以後、電磁波としての波動性を積極的に利用できるようになり波動光学として急速に発展した。ここでは光学設計の基本である収差の取り扱いとその性質について幾何光学と波動光学双方の考え方を比較する。そして光ディスクやレーザー顕微鏡等の光学機器において不可欠な収差を低減するための光波面の設計と、液晶光学素子を用いた光波面の電氣的な制御について特徴と事例を紹介する。

司会：綿貫啓一（埼玉大学）

参加費：会員 1,000 円，非会員 2,000 円，
学生員 無料，学生（非会員） 1,000 円

以下の参加申込票を 11 月 8 日(木)までに jsde.dos@gmail.com 宛にご返送頂ければ幸いです。

=====第 13 回設計オープンセミナー参加申込=====
設計オープンセミナー事務局(jsde.dos@gmail.com)宛

ご芳名：

第 13 回設計オープンセミナー（2012 年 11 月 12 日，日本設計工学会会議室）：

ご出席 ・ ご欠席 （←どちらかをお消してください）

会員資格：正会員，学生会員，非会員，非会員（学生）

↑ 該当のものに○印をご記入ください。

=====